



紙漉きの伝来

『和紙』から伝わる豊かな心
～和紙を通じて生活に彩りを添える～

株式会社 榛原
中村 陽子

和紙とは



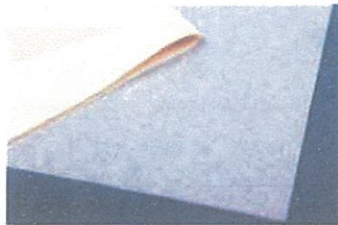
飛鳥時代:漢で発明された技術が朝鮮半島を伝って日本に伝来

→日本の温暖な気候と国土から流し漉きの手法が生まれる

※出展 紙漉き図説



紙漉きの伝来



紙は、人間の労働と自然の恵みの間に生まれた神聖なものとして大切に扱われる

→以後、情報伝達、精神生活、知的水準の向上に貢献



紙漉きの伝来



『紙の用途がこの国より広い所は恐らくどこにもないであろう。』

紙は書く事、印刷することのほかに窓ガラス、ハンケチ、衣類、ランプの芯、紐その他のいろいろな物に使われる』

『オレンブルク日本遣征記』/
オレンブルク[著]; 中井晶夫訳
東京: 雄松堂書店, 1969



和紙の原料



楮(こうぞ)



三椏(みつまた)



雁皮



和紙の製作工程



煮熟

ちり取り



叩解



紙漉き



乾燥

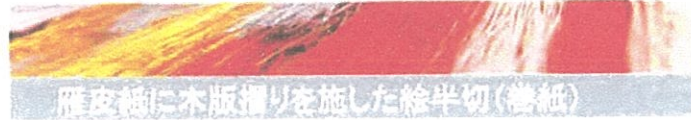


榛原の歴史

江戸期



文化三(1806)年創業の和紙舗



雁皮紙に木版摺りを施した絵半切(巻紙)



和紙に木版摺りを施した商品を販売



『東京商工博覧絵』(明治十八年)



江戸期に販売していた絵半切(手紙用紙) 見本帳より



酒井抱一筆 團扇絵「秋草に堂」 榛原聚玉文庫より



明治期



文明開化期には和紙を輸出し、洋紙を輸入

「博覧会の時代」と称された明治期



『帝国日本東京日本橋の図』（明治二十年）

明治期に参加した万博

- 1867(慶応3) 第2回パリ万国博覧会
- 1873(明治6) ウィーン万国博覧会
- 1876(明治9) フィラデルフィア万国博覧会
- 1878(明治11) 第3回パリ万国博覧会
- 1879(明治12) シドニー万国博覧会
- 1880(明治13) メルボルン万国博覧会
- 1883(明治16) アムステルダム万国博覧会
- 1883(明治16) ボストン万国博覧会
- 1884(明治17) ロンドン衛生万国博覧会
- 1888(明治21) パルセロナ万国博覧会
- 1889(明治22) 第4回パリ万国博覧会
- 1893(明治26) シカゴ万国博覧会
- 1897(明治30) ブリュッセル万国博覧会
- 1904(明治33) 第5回パリ万国博覧会
- 1904(明治37) セントルイス万国博覧会
- 1905(明治38) リエージュ万国博覧会

国内で開催された博覧会

- 1871(明治4) 京都博覧会
- 1872(明治5) 湯島聖堂博覧会
- 1877(明治10) 第1回内国勸業博覧会(開催地東京)
- 1877(明治10) 第6回京都博覧会
- 1878(明治11) 第7回京都博覧会
- 1880(明治13) 宮城県博覧会
- 1881(明治14) 第2回内国勸業博覧会(開催地東京)
- 1884(明治17) 奈良博覧会
- 1887(明治20) 東京府工芸品共進会
- 1890(明治23) 第3回内国勸業博覧会(開催地東京)
- 1895(明治28) 第4回内国勸業博覧会(開催地京都)
- 1903(明治36) 第5回内国勸業博覧会(開催地大阪)
- 1907(明治40) 東京勸業博覧会

* 榛原が出品した博覧会は赤字で表記

日本の国際地位向上の目的の元、伝統工芸が保護される



万国博覧会への出展



和紙の加工技術と意匠を西欧へ紹介



和紙の加工技術と意匠を西欧へ紹介



内外国博覧会受賞



パリ、アールデコ博覧会(1925年)受賞



榛原海外向け広告『N.J.HAIBARA』



榛原千代紙『雲鶴』

和紙の加工技術と意匠を西欧へ紹介



榛原千代紙『松喰い鶴』

19

美術家との交流



三代目榛原直次郎
(1846~1910)

明治12年設立の龍池会(後の日本美術協会)に会員として参加

柴田是真(1807~1891)
河鍋暁斎(1831~1889)
川端玉章(1842~1913)

などと交流を深める

20

美術家との交流 -柴田是真-



柴田是真筆「花くらべ」より櫻(復刻)

21

美術家との交流 -柴田是真-



柴田是真筆 木版絵「七福神」

22

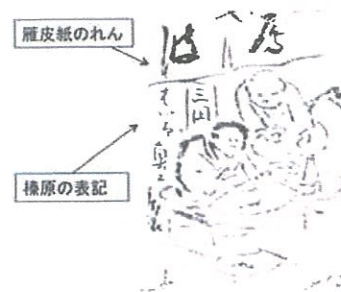
明治期:美術家との交流 -柴田是真-



柴田是真筆 団扇絵

23

美術家との交流 -河鍋暁斎-



河鍋暁斎『暁斎絵日記』
明治17年8月5日記事より

榛原で扇絵を描く暁斎

24



美術家との交流 -河鍋曉斎-



河鍋曉斎筆 榎原団扇絵「鶏」

25



美術家との交流 -河鍋曉斎-



河鍋曉斎筆 榎原団扇絵「百福」

26



大正期



計測器の記録紙の製造に国内初成功

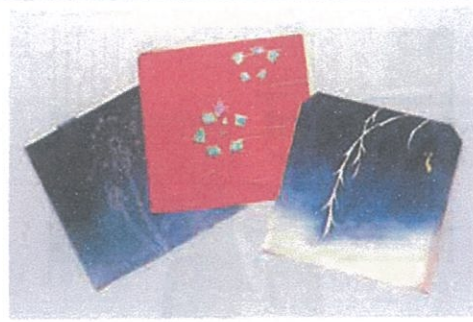


方眼紙の見本帳

28



竹久夢二に多くの図案を依頼



夢二団扇絵

29



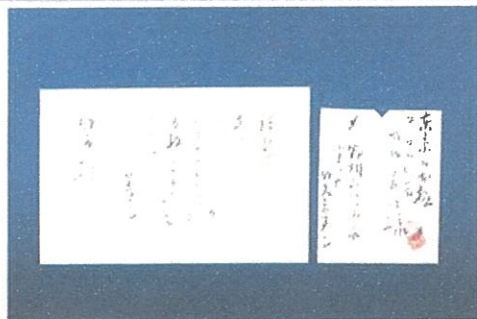
竹久夢二に多くの図案を依頼



夢二抒情絵封筒 見本帳

30

竹久夢二に多くの図案を依頼



夢二から榛原番頭へあてた発注書

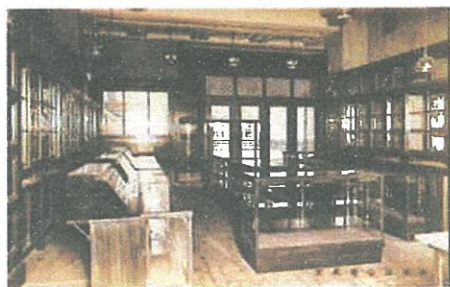
昭和期

昭和5年:旧榛原ビルディング竣工



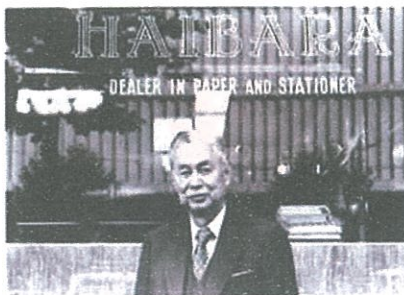
竣工記念ミニノート(上)
竣工当時の写真(左)

昭和15年:旧榛原ビルディング竣工



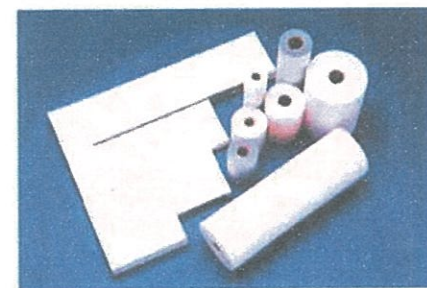
榛原ビルディング内観

昭和39年:計測記録紙の工場を設立



変化する世相の中でも暖簾を守り抜く

昭和39年:計測記録紙の工場を設立



榛原製記録紙 アポロ11号にも搭載される



榛原の現在



平成27年5月 中央通りに本店移転



38

現在の榛原の取り組み



- ①伝統的な和紙加工技術の維持
- ②所蔵する美術資料の商品化

39



伝統的な和紙加工技術の維持



木版手摺絵はがき
「夢二の旅」

版木制作風景

40



伝統的な和紙加工技術の維持



木版手摺絵はがき
「夢二の旅」

木版摺り風景

41



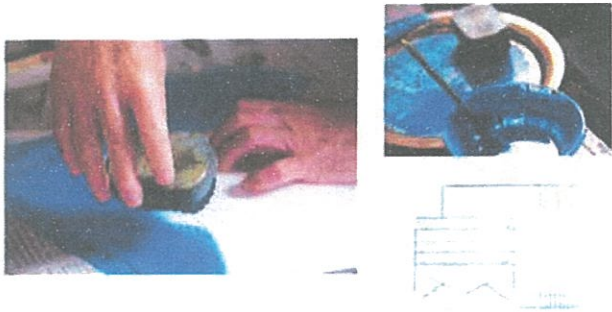
伝統的な和紙加工技術の維持



木版摺 金封

42

伝統的な和紙加工技術の維持



木版摺 色ふちレターセット

43

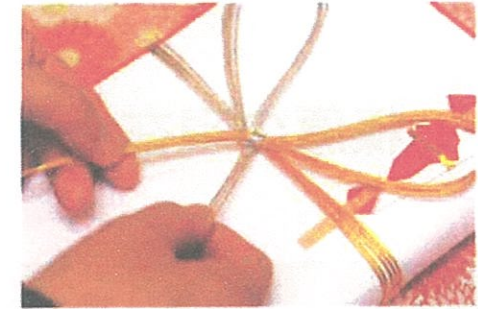
伝統的な和紙加工技術の維持



水引細工(金封)

44

伝統的な和紙加工技術の維持



水引包装(花結び)

45

所蔵する美術資料の商品化



榛原 復刻圖案ぼちぶくろ

46

所蔵する美術資料の商品化



榛原 復刻圖案ぼちぶくろ
(雪輪うさぎ)

47

所蔵する美術資料の商品化



蛇腹便箋 跳びうさぎレターセット

48

他社とのタイアップ

UT NEW 由西元1806年所創立的和紙店舗・所繪製的彩色原花和紙等新品登場!



ユニクロとの事例

所載する美術資料の商品化



河鍋暁斎シリーズ 絵はがき

榛原の未来



これからの目標



- ①日本の紋様を後世に伝える
- ②和紙のある暮らしを提案する

榛原千代紙と紋様の意味

<重陽>

「めでたい事の先触れ」



榛原千代紙と紋様の意味

<松竹梅>

「平和な日々が
広がるように」



榛原千代紙と紋様の意味

〈色硝子〉

- 泥の中から清らかな花を咲かせる菱と「人の倫理」

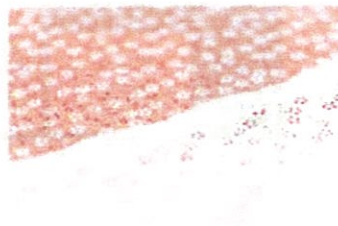


55

榛原千代紙と紋様の意味

〈風待ち草〉

- 普通の志の象徴



56

ノート、小箱等として販売



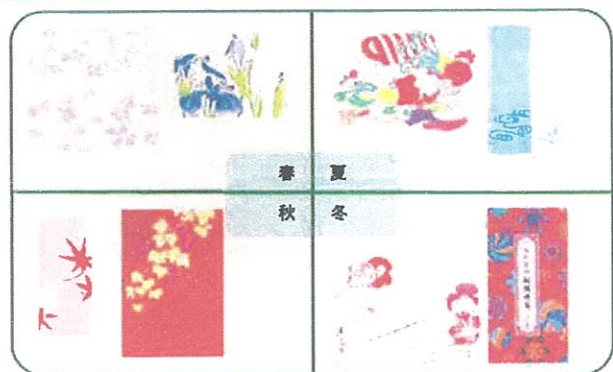
六角筆筒(ペン立て)



榛原ノート

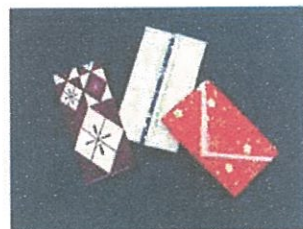
57

季節に合わせた和柄の選び方



58

生活の様々な場面で使える千代紙



59

和紙のある暮らしを提案する



60

SNSの活用

Instagram



Instagram



Facebook

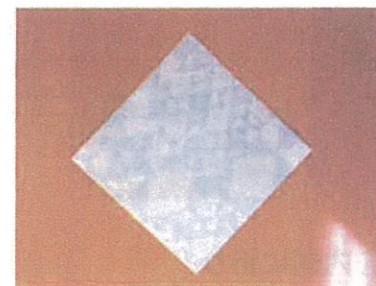
ぼちぶくろ



<材料>
・千代紙 1枚

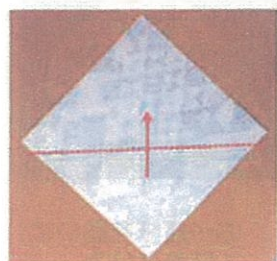


ぼちぶくろ



①後ろ側からスタート

ぼちぶくろ



②少し先端をずらすように、紙を三角に折る



ぼちぶくろ



③裏返し、三角形の頂点を底辺まで折り下げる



ぼちぶくろ



④裏返し、左角を内側に折る



ぽちぶくる

少し内側から折る



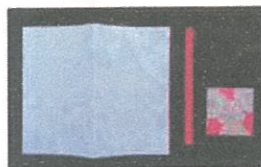
⑤ 直角を内側に折り、重なった部分を左の袋の中に入れる

箸袋



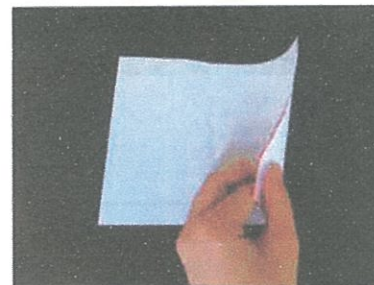
<材料>

- ・懐紙 1枚
- ・色帯 1本
- ・千代紙 1枚



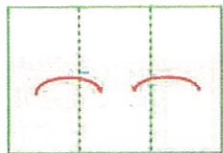
箸袋

① 裏側からスタート



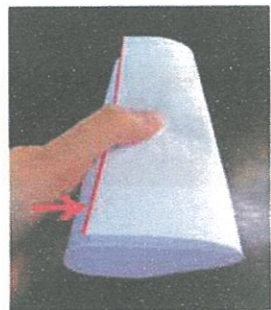
紙をめくった時赤い線が右側に来るように

箸袋

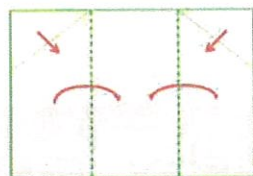


② 懐紙を三等分する

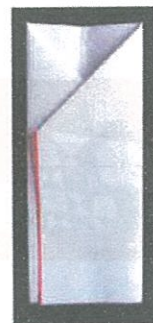
- ・丸めて三等分する
- ・折った時に赤い線が少し内側に入るようにする



箸袋



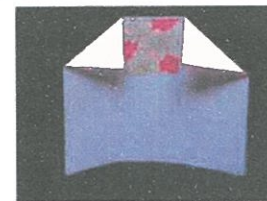
③ 一度紙を広げ 左右の角を折り、三つ折りに戻す



箸袋



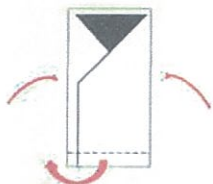
④ 袋の口に千代紙を差し込み一番きれいに模様が見える方向を決める。



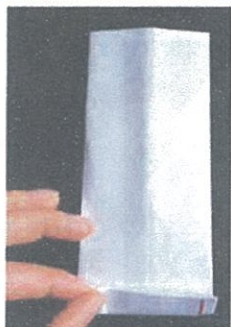
⑤ 一度紙を開いて貼り付ける。



箸袋



⑥紙を再び折りたたみ、
底を後ろに折り上げる



箸袋

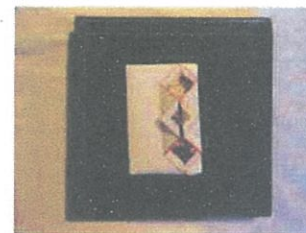


⑦紅帯びを巻いて
完成

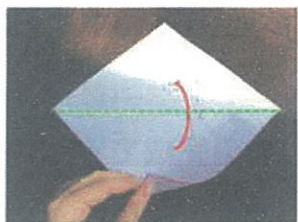


ぼち袋 熨斗付き

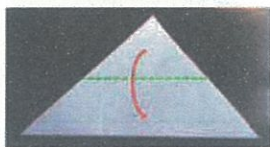
<材料>
・四方紅 1枚
・千代紙 1枚



ぼち袋 熨斗付き



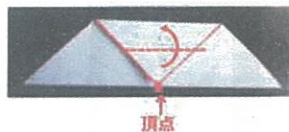
①裏からスタート
半分に折る



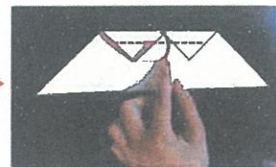
②三角形を更に
半分に折る



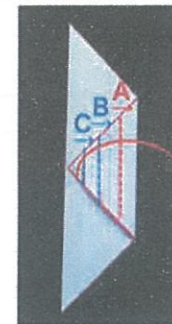
ぼち袋 熨斗付き



③手前の三角形の部分を
2回半分に折ります。



ぼち袋 熨斗付き



④熨斗部分を一度開き
Aの線に沿って、
一枚紙を広げます。



ぼち袋 熨斗付き

⑤広げた部分に千代紙を貼り付けます。

ぼち袋 熨斗付き

⑥Bに沿って谷折りCに沿って山折りとする

ぼち袋 熨斗付き

⑦右側も同様に折り、熨斗の完成です

ぼち袋 熨斗付き

⑧熨斗の下端に沿って後ろに折り上げます。

ぼち袋 熨斗付き

⑨裏返して上端も折り返します。

⑩下側の袋の中に、紙の端を差し込みます。

ぼち袋 熨斗付き

ぼち袋の完成です

日時	平成 29 年 9 月 29 日 (金) 9:30~11:30
テーマ	『和紙から伝わる豊かな心』 ~和紙を通じて 生活に彩を添える~
講師	株式会社榛原 中村 陽子様
参加人数	46 名 (来賓 7 名、PTA 役員 7 名、文化厚生委員 13 名、その他保護者 19 名) 10 名欠席
託児	なし (1 名キャンセル)
内容	9:30 文化厚生委員長、校長先生の挨拶 9:40 中村様による講演(パワーポイント使用、資料配布) ・和紙とは(原料の楮、三桎、雁皮のサンプル) ・榛原の歴史、現在と未来 ・千代紙と紋様の意味 ・季節に合わせた和柄の選び方や和紙のある暮らし 10:30 ワークショップ ・ぽち袋や箸袋の制作 11:00 質疑応答 11:10 世田谷区教育委員会 藤本先生、PTA 会長の挨拶 11:20 終了 アンケート回収

◆アンケート結果 (回答数 34 件)

【講演の感想】

- ◇ 本物の和紙の手触りがとてもよく、本物に触れることの大切さを学びました。色鮮やかな和紙の素晴らしさを改めて認識しました。日常生活の中に取り入れたいと思います。(8)
- ◇ お店に足を運んでみようと思った。(6)
- ◇ 日本に古くから伝わる和紙は書くこと以外にも用途が沢山あり、なおかつ自分で作り上げる楽しみもあることに今日初めて気づきました。(2)
- ◇ 和紙についてもっと身近に使っていきたいと思いました。メールが殆どになっているのでお手紙を送る機会が少なくなりましたが、四季を感じる絵ハガキや便せんで送ってみたいと思いました。
- ◇ ワークショップもあり楽しかったです。(9)
- ◇ 普段の生活で「和紙」に触れることが少なくなった今、和紙の歴史や作り方を知り、実際に手で触れる事が出来てとても心が豊かになりました。和紙の柔らかさ、絵の色合いなども素敵で自分で作ったポチ袋などに感動しました。帰ったら子供に見せ話をしようと思います。(3)
- ◇ コミュニケーションや人生の節目に使用するものとして、長い歴史の中で大切に育まれてきた和紙の文化を次の代にも受け継いで行きたいと思いました。
- ◇ 期待以上に有意義な時間でした。日本文化の奥深さや美しさを再認識する大変良い機会となりました。数年、海外で暮らしておりましたが、日本文化に外国人はとても興味を持っている事を肌で感じつつも、まだまだ知られていない事や、私を含め日本人自身、日本文化について多くを語れない事を自覚してしまう日々でした。子供達と日本の文化についてもっと勉強したり、触れる時間をもちたくなりました。

- ◇ 学生の頃、和紙に関心があり学んだりもしていましたが、日々の生活の中ですっかり遠ざかっていたとハッとしました。日本の文様の意味などについて改まったところではなく、普段から話題にしたり目に見える形でも暮らしの中に取り入れて親しんでいきたいと思いました。
- ◇ 折り紙より丁寧に扱いたくなる不思議さが和紙にはある。
- ◇ 中村先生の優しさ伝わるお話が心に沁みました。菱というお花を知らず、泥の中からどんな環境でも強くたくましく花を咲かせる。子供に「失敗を恐れず、土台をしっかり」と伝えていきたいと思います。
- ◇ 家にある千代紙も使うのがもったいないとしまい込んでいましたが、使ってこそその美しさがあるのだと今日思いました。
- ◇ 文様に込められた願いや祈りをお渡しする人に託す、日本人の心を大切に生きていきたいと思いました。熨斗付きポチ袋の四方紅の模様が小さな正方形がいくつも浮かび上がり、どのような製造工程を経るのか知りたくなりました。
- ◇ 子供の頃、初めて千代紙を見た時の感動が再び蘇りました。娘は、折り紙、切り紙が大好きです。日本の素晴らしい伝統を生活や遊びにも取り入れて、日本の先人の素晴らしさを伝えたいと思います。(2)
- ◇ 日本文化について、改めて考えるきっかけになりました。手を使って相手を思いながら折る、素敵な時間となりました。(2)
- ◇ 実際に和紙を使ってみることによって、より身近な物に取り込める物なのだという気持ちになりました。

【運営方法等のご意見】

- ◇ マイクの雑音が始終なっていてとても気になる。(2)
- ◇ この企画を募集する時に、ワークショップで作る作品などを紹介したらもっと沢山の方が参加したのではないのでしょうか。
- ◇ テーブルの距離が短く、その分アットホームな雰囲気での距離を縮めることができたような気がします。
- ◇ ワークショップがあることで、楽しく参加でき、家に帰ってから話題にしやすと思う。
- ◇ 各々のキット、カラーコピーとてもうれしかったです。

◆反省・改善点

- ・配布資料が必要な場合は、モノクロかカラーか、予算との兼ね合い外注先を含め早めに決めておく。
- ・演台は前日に急遽準備したが、講師PC操作などの為にもあった方がよかった。
- ・プロジェクターは前回にくらべると見えやすかった。(出入口を正面に)
- ・PTA役員、校長先生の席は前方に予め確保しておいた方がよいのではないか。(受付時に案内必要)
- ・司会の台本については、来賓者や式次第が確定後、再度見直すこと。
- ・当日の分担を明確にする。(来賓の誘導など)
- ・ワークショップにハサミとのりが必要とのことで相当数揃えたが、ハサミは必要なかった。
- ・当日の欠席が10名あったので、お知らせ配布日など要検討(今回は夏休みをはさんでの配布と実施だった為)